

県議選候補者アンケート回答 下

◎さくら市・塩谷郡 ◎那須烏山市・那珂川町 ◎真岡市 ◎日光市 ◎芳賀郡 ◎壬生町
届け出順。氏名、年齢、政党、丸数字は当選回数
政党は、自＝自民／立＝立憲民主／公＝公明／共＝共産／維＝維新／参＝参政／無＝無所属。現は現職、元は元職、新は新人

政務活動費について、全国都道府県議会ではインターネット上で領収書を公開している、または公開予定の議会が23カ所あります

問1

政務活動費について、栃木県議会もネット上で領収書を公開すべきだと思いますか。

問2

県議会の定数や選挙区割りを見直すべきだと思いますか。

問3

性の多様性への理解促進を図る条例案について、今後はどのような展開が望ましいと思いますか。

問4

最も重視する県政の課題を1つ挙げ、その理由や取り組みたい政策を教えてください。

さくら市・塩谷郡（定数2－4）

西川 鎮央
無元① 51歳

どちらとも言えない

他の都道府県の動向をみながら、事務作業負担等も踏まえつつ検討すべきである。

見直すべきだ

1人区は死票が多く、広域行政を担う県議の資質の確保のためにも複数行政区に見直すべき。

内容を再検討した上で制定すべきだ

趣旨は尊重するが、県内の幅広い方に参画いただく形での十分な議論と丁寧な説明が必要と考える。

豊かさを感じる社会の実現のため、あらゆる格差を是正し、教育費負担軽減や食料安全保障に取り組んでいく。

小菅 哲男
自現① 58歳

どちらとも言えない

調査会を開催して透明性を確保、領収書の公開は改選後検討。

どちらとも言えない

国勢調査を参考にして検討。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性は必要と考える、国の動向を注視。

少子高齢化・人口減少、若者の結婚支援、子育て支援、高齢者施設整備の充実、安価で安全安心な暮らしの確保。

桜井 秀美
立新 69歳

公開すべきだ

議員のモラル向上と、義務の明確化が必要。

現状維持すべきだ

都市集中の議会になりがち、県全体を考慮する必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性や理解促進は必要。

予防医療の推進と、健康寿命を伸ばしつつ行政の医療費負担の軽減を目指す。

佐藤 晴彦
自新 43歳

どちらとも言えない

報告書への領収証添付があり、調査会で使途の透明性は確保されている。HP公開の必要性については要検討。

どちらとも言えない

定数・区割りは現状をより分析し、議員1人当たりの人口数や面積などを改めて調査検討の必要があるため。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性の理解促進は必要。条例案公表から時間がたっており、再度条例化に向けた検討をすべき。

子育て施策の充実。子育て・教育環境、福祉・医療施策などにおける、県主導による市町間格差の是正対策。

那須烏山市・那珂川町（定数1－2）

三森 文徳
自現⑥ 66歳

どちらとも言えない

政務調査費のあり方そのものを、もう一度検討すべきと思うので。

見直すべきだ

人口4万人に県議1人という原則を含め、見直しを行うべきと考える。

内容を再検討した上で制定すべきだ

国の動向を見守った上で再検討すべき。

農業の担い手対策を、従来の施策でない未婚対策なども含め強化していきたい。

沼田 邦彦
無新 51歳

公開すべきだ

税の公平性や客観性を鑑みれば公開すべきと考えます。

見直すべきだ

全国的に無投票当選の割合が増加しており、特に1人区において顕著な傾向にあるため。

その他・無回答

多様性社会を認めるべきだが、各法律の整合性が取れないため、時間をかけて検討すべきと考える。

県の均衡ある発展と、少子高齢化に伴う人口減少問題。

真岡市（定数2－2）◆無投票当選

石坂 太
自現② 42歳

どちらとも言えない

第三者委員による調査会を設置し使途の透明性を確保している。領収書の公開については改選後検討が必要。

どちらとも言えない

選挙区割り等の在り方については国勢調査や人口の推移を参考にしながら慎重に調査検討を行うべき。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要。国の動向も注視しながら理解促進が進むような議論を進めるべき。

本格的な人口減少という大きな社会変化に対応していくための各分野における対応策の策定。

池上 正美
無新① 63歳

公開すべきだ

公平公正を期するために政務活動費の使い道を明確にすべき。市町村議会の多くもネットを含め公開している。

どちらとも言えない

定数削減は人口減少から仕方がないかもしれないが、区割りから考えると範囲的な面で不公平が生じるから。

内容を再検討した上で制定すべきだ

時代と共に変化していることであるため、内容をさらに精査する必要がある。もちろん削減的でなく追加の方で。

少子高齢化対策のうち、特に高齢者の生きがいづくりと再雇用対策。

日光市（定数2－2）◆無投票当選

阿部 博美
無現④ 62歳

どちらとも言えない

弁護士も入った調査会において活動内容並びに支出の適性をチェックしている。ネット公開は今後要検討。

どちらとも言えない

総定数並びに区割りについては次期国勢調査による人口動向をベースに今後検討すべきと考える。

現行案で制定すべきだ

今や多様性の時代。一人ひとりを認め合い、支えあう「共生社会」の実現には条例制定は不可欠と考える。

妊娠・出産・子育てにおいて切れ目のない支援策の充実と社会全体で子育てをする体制の構築をすすめる。

加藤 雄次
自現② 68歳

どちらとも言えない

第三者委員による調査会を設置し使途の透明性を確保している。領収書のHP公開については改選後検討予定。

どちらとも言えない

総定数及び選挙区割り等のあり方については、国勢調査等を参考にしながら改めて調査検討を行う必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要と考える。国の動向を注視しながら、本旨理念の条例化に向けて議論を進める。

人口減少、少子高齢化による数々の問題に対応し、誰一人取り残すことのない共生社会の実現。

芳賀郡（定数2－2）◆無投票当選

山形 修治
自現⑤ 59歳

どちらとも言えない

第三者委員会によるチェックを受け透明性は確保されている。領収書の公開については今後の検討課題である。

どちらとも言えない

定数や区割りのあり方について国勢調査等を参考にしながら地域間の均衡の視点を含め検討すべきである。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性について理解促進を図るべきであり、今後の国の動向を注視し議論をするべきである。

持続可能な地域社会を築くため、若者や女性のニーズに合った産業を創出し魅力あるとちぎづくりを重視する。

岩崎 信
自現⑥ 71歳

どちらとも言えない

第三者委員会による調査会を設置し使途の透明性を確保している。領収書のHP公開については改選後検討予定。

どちらとも言えない

総定数及び選挙区割り等のあり方については、国勢調査等を参考にしながら改めて調査検討を行う必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要と考える。国の動向を注視しながら、本旨理念の条例化に向けて議論を進める。

地域の活性化と福祉の向上、少子化対策、健康寿命、共生社会の実現、社会資本の整備、スマート農業の充実。

壬生町（定数1－1）◆無投票当選

佐藤 良
自現⑤ 43歳

どちらとも言えない

第三者委員による調査会を設置し使途の透明化を確保している。領収書のHP公開については改選後検討予定。

どちらとも言えない

総定数及び選挙区割り等のあり方については、国勢調査等を参考にしながら改めて調査検討を行う必要がある。

内容を再検討した上で制定すべきだ

性の多様性への理解促進は必要と考える。国の動向を注視しながら、本旨理念の条例化に向けて議論を進める。

「人口減少対策」。少子高齢化が進む中、持続可能な社会実現を目指し、担い手育成、子育て支援などに取り組む。